

自己評価結果等届出書

令和 8 年 2 月 27 日

鹿児島市長 殿

1 事業者（所）情報

事業者の名称 (法人名)	社会福祉法人 慶生会				
事業所の名称 (施設名)	放課後等デイサービス ニーニョ&ニーニャ (来夢)				
事業所番号	4650004130				
事業の種別	<input type="checkbox"/>	児童発達支援	<input checked="" type="checkbox"/>	放課後等デイサービス	<input type="checkbox"/> 保育所等訪問支援
事業所の所在地	鹿児島市清和2丁目17-25				

2 公表状況

公表日	令和 8 年 2 月 27 日
公表方法	1. 方法の区分 (プルダウンから選択) ホームページ ↓2にURLを記載
	2. 内容 keiseikai@tulip.ocn.ne.jp
	<u>※公表をホームページ以外の方法で行っている場合には、公表している媒体の写しや事業所内の掲示箇所が確認できる写真等も添付すること。</u>

3 自己評価事務担当者情報

担当者名	盛本 留美
連絡先 (TEL)	099-210-2022

※公表している自己評価表を添付すること。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ニーニョ&ニーニャ（放課後）		
○保護者評価実施期間	令和8年1月9日		～ 令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29世帯	(回答者数) 18世帯
○従業者評価実施期間	令和8年1月9日		～ 令和8年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	月々の療育の中で、飽きない事業所・環境・教材作りに努めています。	手話歌・シャトルラン・リレーやかけっこなど個々のニーズに合った活動を段階的に準備したり、心の学び（話し合い・ストレッチなど）を通して気持ちの立て直し・切り替え等5領域を幅広く網羅した活動を提供しています。	参加が難しいお子様に対しての課題の取り組みとして、階段歩き・絵カード・二者選択等を行い、更なる取り組みの幅を広げられるようにして参ります。
2	進学・就職に向けて将来をしっかりと見据えた経験値向上、コミュニケーション力強化等に努めています。	お仕事ゲーム（カフェ練習・包装練習・美化作業等）や法人内外の就労支援B型事業所見学、体験等を取り入れながら将来を見据えた活動を行っております。また、手話歌、フィットネスカンファ、季節のクッキングなど個々の段階に合った取り組みを継続しています。	カフェ体験などの事業所内での活動で成長や課題を感じてもらっております。今後も将来に繋がる経験値の向上を目指して参ります。
3	地域や学校との連携強化やご家庭支援をより丁寧に行っております。	地域の方々との季節のイベントや身近な児童クラブと年2回の交流機会を設け、地域に根付いた行事や関わりを通して社会性や協調性を育む活動を設けています。	地域社会や学校、ご家庭での困り感にも段階的に対応できるよう、地域での生活体験や就労に向けた活動を充実させ、自己完力の向上の繋がる経験の機会を経験を広げて参ります。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	虐待防止や感染症対策、バリアフリーなどの研修報告の強化	虐待防止や感染症対策などに関する研修報告は、一覧掲示や家族会で周知していますが、ご家族への周知方法が限定的で十分に浸透していないことが課題となっています。そのため、より効果的な周知方法について検討を進めています。	定期的な会報やSNSを活用した事業所からのお知らせなど、身近な方法を即時実践し、安心して通っていただけるよう広報の充実に取り組みます。あわせて、より効果的な周知方法についても継続的に検討してまいります。
2	屋外での自立活動・共存する力を習得する場の強化	屋外での自立活動・共存する力を習得する場の環境が限定的になっており、屋外での遊びの工夫を検討中です。	ボランティア活動などに取り組んでおりますが、様々な場所で習得ができるよう、法人内での室外の設備利用の検討を行って参ります。
3	家族会も含めた、ご家族・きょうだい児同士の交流の場	家族会やクリスマス会などでご家族同士の交流の場は少しずつできていますが、ゆっくり話せる交流の場は少ないため、検討中です。	ご家族の皆様に参加しやすい形をお聞きしながら、安心して交流できるような場を設けていきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ニーニョ&ニーニャ (放課後デイ 来夢)

公表日 令和8年2月27日

利用児童数 33名

回収数 18名

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	4	0	1	あまり部屋に入る機会がないので、体を動かして活動するのに狭いのが十分なかかわからない	規定も満たしておりますので、活動に合わせながら部屋や環境の工夫を続けてまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	16	1	0	1		職員配置の基準はみたくしております。今後も安心して活動できるよう工夫してまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	1	0	0		手すりや階段などバリアフリーになっていますので、今後は周知に努めてまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	1	0	1		療育室、トイレ等管理責任者を置き、衛生管理を徹底しております。今後も複合施設のいろいろな空間を利用しながらのびのびと過ごせる環境作りを検討して参ります。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	0	0	0	・特定の先生に理解いただいているおかげであると思います。 ・子供の特性等はおちろん親や環境等までわかってくださり、助けていただいています。	お子様一人一人の特性やお子様のニーズに応じた支援内容を心がけております。今後も5領域の目標にしっかり照らし合わせながら職員間で連携し、楽しく参加できるように随時検討して参ります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18	0	0	0		日頃から保護者様のご意向もお聞きし活動内容を工夫しております。今後も幅広く柔軟に対応を重ねて参ります。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18	0	0	0	毎回面談等で話を聞いてもらえ、スッキリ！そこから課題、分析、計画にまで！自分の中のモヤモヤも明文化され整理していただきありがたいです。	ご意見ありがとうございます。お子様一人一人の目標に向けて、個々の発達段階に合わせた方法を見つける事が出来るよ今後も取り組んで参ります。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	0	0	0		学年や学校だけでなく、個々の特性に合った具体的な計画・取り組みを今後も継続して参ります。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	0	0	1		申し送りや必要であれば面談など柔軟に取り入れながらタイムリーな共有を努めてまいります。今後も支援計画書に沿ってお子様の支援に努めてまいります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	1	0	1	・なわとびや習字など小学校でもある活動も取り入れてほしい。スポーツも簡単に室内でできる卓球やバドミントンなど、子供たちの希望活動を何か問い入れてみてはどうかと思う。 ・子供にさせたいと思いがらもできないこと、楽しそうでうらやましい貴重な体験、日常生活に役立つ活動など、幅広い分野の活動をしていただき大変ありがたいです。	ご意見ありがとうございます。今後も自由時間になわとびやサッカー、室内で遊べる卓球などを取り入れて参ります。お子様の成長につながる身体を動かす活動や個々の特性にあった飽きない活動や遊びを展開して参ります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	15	1	0	2		昨年度より、近隣の児童クラブとの交流会が定期的にスタートしております。個人情報観点から写真などでお伝えできておりませんが、差支えない形で啓発できるように工夫を検討して参ります。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	0	0	0		契約書、重要事項説明書などの書類を確認いただきながら説明をさせていただいております。今後もわかりやすい説明を心がけて参ります。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	0	0	0		個別支援会議等で相談支援も加わった支援内容の説明に努めて参ります。

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17	0	0	1		家族会、カフェ参観などを行い情報提供の機会を設けております。必要がある際は個別の相談もお受けいたします。	
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	18	0	0	0	連絡帳ではない新しいシステムになり、こちらから何も連絡できずにいることが多いのですが、それでも子供の状況をよくわかってくださっているとの思いから安心してお任せさせていただいております。	ご意見ありがとうございます。申し送り時や面談、今年度より始めました電子連絡帳にてお子様の様子についてお伝えさせていただいております。今後も共通理解の場を設けて参ります。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	0	0	1	いつも困りごとがあれば助けていただき、わたしの駆け込み寺的存在です。	今後も各ご家庭に沿った困り感にしっかり対応できるように連携を行って参ります	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17	0	0	1		足りないことだらけで未熟な親だとの自覚はありますが、こんな私を否定することなく、共感していただいたり、傾聴していただけたり、穏やかな気持ちになれます。	ご意見ありがとうございます。お子様の成長を保護者様と共に喜び、悩みやご相談についても丁寧に話を伺いながら、共感的な姿勢で支援を行ってまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15	1	0	2		ハロウィンイベント等楽しんでおりましたし、妹も参加できるイベントがあつて一緒に参加できて喜んでいます。	家族会や自由懇談会などを実施して参りました。今後もご家族様が語り合えるような機会を作って参ります。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	18	0	0	0		数々の困りごと、相談に迅速にご対応いただき、感謝しかありません。	お申し込みがありましたらすぐに相談の場を設けさせていただいております。そうぞ遠慮なくお申し出ください。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	1	0	0			日常の申し送りの中でできる限り直接ご家族とお話させていただいております。相談しやすい場の工夫を更に考えて参ります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16	2	0	0			急ぎの共有事項に関しては現在「さくら連絡網」や「電子連絡帳」を使用しながら配信させていただいております。自己評価につきましては、後日ホームページに公開して参ります。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	1	0	1		申し送り、報告の際に他の保護者に話の内容がきかれないようにしてほしい。	申し送りの場につきましては今後工夫をして参ります。個人情報につきましては通常は、鍵付きの棚に保管し、取り扱いについては全職員、十分に配慮しております。管理に関しては、今後も徹底し行って参ります。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	0	0	2			マニュアルを作成し、災害発生時のマニュアルに関しては紙面を配布しております。家族会等を通してわかりやすい伝達を検討して参ります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	0	0	0			具体的な地域の特性に合った訓練等を活動内容や申し送り等に盛り込んでおり、今後も自然災害、不審者対策訓練など反復して実施して参ります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	1	0	1			年間を通した安全計画を作成しております。こちらにもマニュアル同様、閲覧しやすい場所への設置を行って参ります。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状態等について説明がされていると思いますか。	18	0	0	0			小さな異変やけがについても説明等を今後も丁寧に行って参ります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18	0	0	0			職員との信頼関係を構築し、安心して通所していただけるように努めて参ります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14	4	0	0		・休み明けや土曜日、長期休みなど行きたくない！ということがあつても、行ってしまえば、結局は楽しかった！と行っています。 ・思春期なのですみません。	活動内容とニーズ、課題を照らし合わせて運営しています。苦手に感じることも少しずつ楽しさを感じてもらえるように場や時間設定など今後も職員間で検討し療育に生かして参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	18	0	0	0		放課後や土曜日や長期休み安心して仕事ができるのも、困りごとがあつてもそうだしできる場所があるとの心強いのも、温かく支援していただいているからだ大変満足しています。	保護者様のご理解・ご協力のもと、お子様の大切な成長時期に少し背伸びした活動にもチャレンジを続けています。今後とも言葉や将来への見通しにつながるよう支援に努めて参ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ニーニョ&ニーニャ (放課後デイ 来夢)		公表日 令和8年2月27日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		療育室のスペースに対して適切な定員となっております。また、多機能施設の特徴を生かして随時部屋を目的分けして使用しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		状況に合わせて他事業所から協力をいただくなど、お子様の安全に配慮して職員を配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		お子様が生活面の自立を図っていけるよう、必要な情報を視覚的に掲示するなど工夫を行っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		療育後、お部屋やトイレの清掃を行い清潔な空間を保てるように心掛けています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		お子様の過ごし方の違いへの対応や、落ち着く為の場所として相談室や隣室を使用しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画しているか。	○		週単位で改善案を図り、より良い活動内容になるように広く職員から意見を出し合っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		アンケート調査の結果は事業所内で共有し、更なる工夫、業務改善に繋げられるよう努めてまいります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		朝礼や日々のやり取りの中で、職員の気づきを出し合い、業務改善に活かしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在、第三者による外部評価は行っておりません。今後評価の検討を行って参ります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		療育研究会や職員研修以外にも強みを生かせる研修など事業所内で継続して実施しています。	より多くの職員が参加できるように、実施時期、時間帯の設定の見直しを行っています。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		慶生会のホームページにて公開しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		ニーズや課題を保護者様と共有しやすいように内容を具体的にするように努めています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		計画の作成段階で、お子様の様子や支援の方針の意見を他の職員にも求めるようにしています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画に沿った支援ができるよう、面談終了後の朝礼やケース会議で内容を共有しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○		現在、特定のアセスメントツールは使用しておりませんが、アセスメントツールの研究を行い、適したツールの使用を検討して参ります。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインの項目を踏まえ、実際のお子様の強みや課題に合わせた支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		事業所職員全員で案を出し合い、活動プログラムを組み立てています。職員それぞれの強みが活かされた活動も取り入れられていると思います。	

18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		小学生や支援学校など特性ニーズに合った活動を段階的に準備して実施しています。	お子様方、ご家族のニーズをより取り入れていけるよう、アンケートの実施を予定しています。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		お子様のニーズや課題に合わせ、作成しております。個別活動と集団活動のバランスは個々に応じて変えています。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		前日までに活動内容にあった教材等を準備し学年など段階的に達成できるように設定しています。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	○		上記と同様に、朝礼の時間を利用し、前日の振り返りを行い、次の支援へと繋げていけるよう取り組んでいます。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援内容やお子様の様子など、記録として残り、成長や変化に気付きやすくなるようにしています。	
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6カ月ごとにモニタリングを行い、見直しを行っています。	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	○		平日や土曜日など療育時間の長さを生かして複数活動で取り組み、お子様が飽きないように目的・作業内容の確立を意識しています。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		活動の中で「自分で選ぶ練習」「間違っても気にしない練習」など取り入れています。	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		学校情報交換会や個別支援会議など毎月定期的な連携を図っています。	
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			現在医療的ケアが必要なお子様はおられません。が、他事業所とも連絡体制を整えられるように努めて参ります。
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		年2回の情報交換会、送迎時などで連携を図っています。	
29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		必要に応じて、各関係機関と連携を図っています。	
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		必要に応じて連携を図っています。	移行先の事業所へ情報提供の場を設け、スムーズな移行に繋がるような支援を図っています。
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		児童発達支援センターの主催している南部地区連絡会に参加し、意見交換や助言をいただく場になっています。	
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		今年度は清和第二児童クラブさんなどと交流会を2回実施出来ました。ご協力ありがとうございました。	
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		当法人からも自立支援協議会へ参加しております。	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		申し送りや面談等で、お子様の成長や課題の共有を図っています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			現在、未就学の保護者様向けにペアレントトレーニングを実施しております。ニーズを見ながら対象者を拡大していきたいと考えています。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		わかりやすさ・丁寧さを実感して頂けるように努めて参ります。不明点がありましたら、職員までお問い合わせください。	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		セメントや個別支援会議で本人やご家族の意向をお聞きして支援に繋げられるよう努めています。	
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		年2回の面談の中で、放課後等デイサービス計画を元にお話しさせていただいています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		ご相談いただいた際には、専門的な視点からの助言や支援を心掛けています。また、遊遊の職員の視点のみでは必要な助言が難しい際には、他の職員や専門職に意見を求め、お答えできるようにしています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		年2回の家族会実施やカフェ参観など保護者様に参加いただく機会を増やしていきけるよう図っていきます。	今後、ご家族やきょうだい児のニーズも見ながら内容を検討してまいります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情解決窓口を設置し、迅速に対応できるようにしています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		法人として会報（ポコアポコ）を作成し、発信しています。	より療育の様子を見ていただきやすいようにSNSの利用も検討しています。個人情報の扱いに配慮しながら、発信の仕方を工夫していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		契約書にもある『利用者の記録や情報の管理、開示について』の項に則り、厳正に取り扱っております。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		ゆっくりわかりやすくお伝えしたり、メモを生かすなど工夫をしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		今年度はハロウィンイベントを開催し、地域の方にも足を運んでいただきました。イベントを通してふれあい・地域を知る機会を作っています。	地域を巻き込んだ活動から子どもたちと社会の繋がりができるような活動はどのようなものがあるか、更に事業所内でも検討してまいります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各ケースを想定し、マニュアルを策定し、研修などで職員間の周知・習熟を図っています。また、避難訓練、防犯訓練も定期的に実施しています。	一部、施設内に掲示はありますが、今後、ご家族の皆様にとって更に見やすい形を検討して参ります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		館内・事業所とそれぞれの訓練を行いAEDの使い方などにも興味を持たせられるように工夫をしています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		毎年の誕生日や変更にも随時状況をお聞きしています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		栄養士と職員で確認し、アレルギー食品の提供がないよう徹底しています。また、アレルギー発生時のマニュアルを策定し、万が一の際には迅速に対応できるようにしています。アレルギーのあるお子様は必ず医師の指示書をいただき対応しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を策定し、職員会議の時間を活用して情報共有や机上訓練を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		家族会などで計画に基づいたお話を行っています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	○		事業所で発生したヒヤリハットはタイムリーに共有できるようにしています。また、他事業所のヒヤリハットにも定期的に目を通し、類似事例の抑制にも努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		月に1回、虐待防止委員会と身体拘束適正化委員会を実施し、意識向上に努めています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束に関するマニュアルを作成しています。お子様の安全の為やむを得ず身体拘束が必要な場合は、本人・ご家族に十分な説明を行い、同意を得た上での実施を義務づけています。		